

明治 Integrative Health モデルの創発と人材育成

渡邊 勝之

鍼灸学部基礎鍼灸学講座

現在の様々な閉塞感を打破することを目的として、大学教職員・学生をはじめ卒業生有志らと共に、「大学・業界・学会との連携構築」ならびに「大学の使命」について、様々な視点・立場から議論してきた。

そこで気づいたことは、社会・医学・医療のパラダイムが大きく変化しつつあり、これまでの「患者・病院システム」から新たな「生活者・健康支援システム」への移行であった。本学は両システムを包含した、独自のモデルを創発することにより、現代の医学・医療に貢献しうる、人材育成が必要不可欠となる。

モデルの3本柱として、①明治国際医療大学の「ブランド力の回復と向上」②「誰からも求められる、地域に愛される大学の創出」③世界に誇る「人のライフサイクルに資する鍼灸学の確立」を立てた。

上記理念に基づき、両システムを統合した【明治 Integrative medicine & Health】のモデル案を作成した。本学の魅力的な価値を創出し、Leading University としての姿を取り戻すことが急務である。